

総合戦略 基本目標 1

産業振興による仕事づくり

◎主な取り組み

- 継続** ○中心市街地の空き店舗や事務所の情報を提供し新たな起業で空き店舗の解消を図る
- 新規** ○市重点奨励品目を主体とした戦略作目の作付拡大
- 新規** ○6次産業化に向けた仕組みづくり
- 新規** ○今年度オープンする「農産物等直売所」を活用した地産地消の取り組み



道の駅たかのす内に建設され、今年度オープンする「農産物等直売所」

- 継続** ○農業用施設の長寿命化の推進
- 新規** ○市内宿泊業者が行う宿泊規模拡大及び水回り設備の施設整備等に対し補助金を交付



「まるごと森吉山観光振興プロジェクト」としてゴンドラ山頂駅舎に隣接し、昨年オープンしたビジターセンター「ぶらっと」

- 継続** ○「まるごと森吉山観光振興プロジェクト」事業として、地域全体で統一感を持った商品開発や情報発信に取り組み、森吉山の地域ブランド化を推進
- 新規** ○国内はもとより、台湾を始めとした東南アジアからの誘客を強化し、交流人口の増加を図るため、北秋田市・大館市・小坂町の3市町で地域連携DMOを形成し、官民が一体となりそれぞれの特徴を引き出した観光地づくりを推進



森吉山の樹氷を楽しむ中国人観光客

「住民が主役の“もり”のまち」の実現を目指して

平成28年度

施政方針

北秋田市議会3月定例会において、津谷市長が平成28年度における主な施策と事業について説明しました。

この中で津谷市長は、「第2次北秋田市総合計画の重点プロジェクトに位置付けている『北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略』の4つの基本目標『産業振興による仕事づくり』『移住・定住対策』『少子化対策』『新たな地域社会の形成』を具現化する各種事業を着実に実行に移すとともに、行政評価を通して進ちょく状況の把握と事業内容の検証を行い、地方創生を推進していく」ことなどについて方向性を示しました。

各課ごとの主な施策と事業をお知らせします。



各課ごとの主な施策と事業等

(☆印は、今年度からの新規事業)

総務課

- ☆職員の能力と業績を公正に把握し、公務効率の向上及び住民サービスの向上を目的として、人事評価制度を実施する。
- ▽職員研修や派遣などを推進する。
- ☆災害時や非常時の情報伝達手段を整備する。
- ▽自主防災組織の育成、地域や防災関連機関との連携を強化する。

総合政策課

- ☆第2次北秋田市総合計画の新たな将来都市像の実現に向け、成果指標の達成のための施策を展開する。
- ☆きたあきた暮らしの動画を制作し、ウェブサイトに首都圏のイベント等で里山暮らしの魅力を発信する。
- ☆移住体験のための住宅整備や移住サポーターを養成する。
- ☆少子化対策として、あきた結婚支援センターの市民の登録料を全額負担する制度を創設する。
- ☆路線バスやデマンド型乗合タクシーの役割を整理し、利便性の高い公共交通網構築のための地域公共交通調査を実施する。
- ▽事業所及び企業を対象とした経済センサス活動調査を実施する。

内陸線再生支援室

- ▽経常損失額2億円以内の目標達成に向け、支援団体や沿線自治会等との連携を強化するほか、企画列車やイベント等を実施する。
- ☆地域おこし協力隊を配置し、内陸線の魅力の掘り起しなどによる沿線地域の活性化を図る。

財政課

- ▽普通交付税の減少幅の拡大に伴い、事務事業の精査や経費節減などによる更なる財政の健全化を図る。
- ☆「公共施設等総合管理計画」を策定し、施設の整理統合や廃止、遊休資産の売却を行いながら有効活用を図る。
- ☆社会保障・税番号制度に伴う、地方公共団体の情報連携に向けた電算システムの改修を行う。
- ▽地籍調査事業は、昨年再開した鷹巣地区の調査を継続実施する。

税務課

- ▽マイナンバー制度の導入などによる税環境の変化にも十分対応し、自主財源確保のため、公平・公正な税務行政を推進する。

生活課

- ▽ごみの分別や減量化、資源化等による循環型社会の推進と、地球環境保全の意識の高揚を図る。

- ☆ごみ処理施設の新施設建築工事が本格化する。
- ▽「尿処理施設整備基本構想」等により、尿処理のあり方と処理システムを検討する。

市民課

- ▽国民健康保険の都道府県化に向けた動きが本格化するなか、今後を見通した適切な財政運営を図る。
- ▽昨年開始した「住民票等の宅配サービス」の利用の拡大を図る。

福祉課

- ☆福祉政策を包括的に推進するため、地域福祉計画を今年度から2か年かけて策定する。
- ☆重度の身体障害、重度知的障害の方に対するタクシー基本料金利用助成を年6回から16回に拡大する。
- ☆北秋田市保育園等整備計画に基づき、本年から鷹巣東保育園を民営化する。

医療健康課

- ▽二次医療圏の核となる市民病院の体制強化と、地域医療を支える開業医や診療所との連携を推進する。
- ▽健診が受けやすい体制づくりや内容の充実、がん検診受診者層の拡大と受診率の向上を図る。
- ▽不妊治療費及び不育症治療費の助成を継続するほか、妊婦健診と母乳育児相談を充実する。

- ▽食育の充実や地産地消、食文化の伝承の普及啓発を図る。
- ☆平成29年開催の「ねんりんピック秋田2017」において、本市で行われる「健康マージャン大会」のリハーサル大会を10月に開催する。
- ☆認知症対応型共同生活介護、介護老人福祉施設を整備する。
- ☆高校生を対象に介護職員初任者研修事業を実施し、地元への就職支援と介護職の人材確保に努める。
- ▽関係する多職種が連携し、サービスを包括的・継続的に提供できるような地域包括ケアシステム実現の体制を整備する。

農林課

- ☆市重点奨励品目を主体とする戦略作目の作付拡大と認知度を高めるための支援を行うとともに、6次産業化に向けた仕組みづくりや今年度オープンする「農産物等直売所」を活用した北秋田市産の地産地消の推進を図る。
- ▽市営牧場を最大限に活用し、北秋田産牛の生産に努める。
- ▽「森林・林業再生プラン」に基づき、施策の効率化、路網整備、人材育成に取り組みとともに、公共建築物の木質化を促進し、森林資源を活用した地域産業の振興を図る。